

小学校第5学年 国語科学習指導案
単元名：「たがいの立場を明確にして、話し合おう」
教材名：「よりよい学校生活のために」

指導者 熊野町立熊野第一小学校 清原 淳子

- 1 日 時 令和2年11月6日（金）5校時
2 場 所 5年1組教室
3 学年・学級 第5学年1組（35名 男子14名 女子21名）



単元について

本単元は、『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編』の「話すこと・聞くこと」領域（1）「ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」及び「オ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること」を受けて設定したものである。

前単元「どちらを選びますか」では、討論会を通して二つの立場を明確にして、説得力のある主張を述べることの学習を行った。本単元では議題に対する自分の意見を明確にした上で、相手の意見をふまえて、考えを広げたりまとめたりする活動が主となる。よって、前単元よりその場での話し合いによる意見の交流が重要となり、瞬発的に考えたことを述べる力が必要となってくる。これからの時代は、意見を求められたときに、相手の意図や質問の意味を瞬時に捉えて自分の立場を明確にしながらか意見を述べる力が求められるため、本単元はその力を育成するのに相応しい単元であると考えられる。

児童の実態

本学級は、普段の授業から積極的に発言する児童が多く、自分の思いや考えを表現することに抵抗感が少ない児童が比較的多い。「話すこと・聞くこと」領域の前単元「どちらを選びますか」の学習では、その傾向が顕著に表れていた。授業後に行ったアンケートでは、討論会で意見を述べることができた児童は100%であり、また「話し合い活動が好きですか」という項目に対して、肯定的に答えた児童は、85%を超えた。これは、前単元は討論会を行う活動が主であり、議題に対して本やインターネットを使って調べる準備期間を設けての話し合いであったため、ある程度知識を身につけて臨み、児童も自信をもって討論会で意見を言うことができたのではないかと考える。

しかし、「討論会の中で、相手の意見を聞いた上で質問をすることができたか」という質問項目については、「十分にできた」と答えた児童の割合は全体の50%にも満たなかった。つまりは、相手の意見と自分の意見を比較した上で、その場で瞬時に自分の意見を述べる力は十分ではないと思われる。

単元の指導

本単元での話し合い活動を主体的でより深い学びにするために、「自分の考えをもつ」、「考えを広げ、まとめる」の2点を重点的に指導していきたい。

まず、自分の考えをもたせるための手立てについてである。自分の考えをもつことが、今後の話し合いを主体的に進めていくために重要であると考えられる。そのため、議題を「委員会活動での課題」という児童のより身近なものをテーマに掲げ、考えさせたい。さらに自分の考えを、観点を示した上で付箋に書き表し、視覚的に残すことでグループの話し合いに深まりをもたせたい。

次に、グループでの話し合いで考えを広げ、まとめさせるための手立てについてである。まず、話し合い活動についての問題点を意識させるために、一度グループでの話し合い活動を行わせる。初めは、「すぐに話し合いが終わってしまった」「意見がまとまらなかった」等の話し合い活動での問題が出てくると想定される。そこで、その問題を解決するために、原因や解決方法を児童自ら考えさせたい。また、教科書の「話し合いでよく使う質問の仕方」や「意見が対立したときには」に書かれている内容にも触れ、

問題の対処方法として児童と共に「解決カード」を作成していきたい。さらに、話し合いの最中には、出た意見を関係付けたり分類したりして、まとめやすい状況を作っていくために「クラゲチャート」を活用する。クラゲの触手の部分に意見を書いた付箋を貼り、異なる意見の数だけ触手の数がある形を示す。さらに、似たような意見が出た場合は付箋を隣り合わせに貼ったり、一つの意見が深まった場合は、触手が伸びたりすることで、視覚的に意見数や意見の深まりが見えるようにする。意見をまとめていくためには、前時までに作成した「解決カード」を用いてグループ全員で協議することで、より深い学びへと促していきたい。

単元の目標と評価規準

【単元の目標】

- 情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うことができる。[知識及び技能] (2) イ
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。[思考力, 判断力, 表現力等] A (1) ア
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。[思考力, 判断力, 表現力等] A (1) オ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。[学びに向かう力, 人間性等]

【評価規準】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学びに向かう力
情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使っている。((2) イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。(A (1) ア) 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(A (1) オ)	学習の見通しをもって、自分の立場を明確にした上で、互いの考えをもとにしながらか、考えをまとめたり広げたりしている。

協働的な学びの場の工夫

- 委員会活動での課題を取り上げる。
 - ・児童の身近な課題として、「委員会活動での課題」を取り上げることで、共通認識をもて、協働的な話し合いの場へとつながる。
- 思考ツールを活用する。
 - ・思考ツール（クラゲチャート）を活用して話し合いをすることで、意見を広げたりまとめたりする話し合いの流れが視覚的に見え、話し合い活動が活発化し、協働的な学びへとつながる。

指導と評価の計画

次	時	学習内容（時数）	評 価			
			知・技	思・判・表	主	評 価 規 準 （ 評 価 方 法 ）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・学習計画を立て、議題を決める。 			◎	
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に対する自分の考えを現状と問題点、解決方法とその理由の観点でまとめる。 		◎		[知識・技能] <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見と他の人の意見を関連付けたり、類推したりして図にまとめている。（符箋，ワークシート）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に対しての話し合いをグループで行う。 ・思考ツールを使って、互いの意見をまとめながら話し合いを進める。 	◎	◎		[思考・判断・表現] <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを観点に沿って、書き出している。（ワークシート，符箋） ・進行にそって話し合いを行ったり、質問をしたりしている。（行動観察）
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で困ったことや難しかったところを出し合い，改善点を考える。 ・新たな議題について，自分の立場を明確にして書き表す。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのゴールを明確にもち，よりよい話し合いになるための手段を考えている。（ワークシート，行動観察）
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の話し合いの改善点を活かして，話し合いを行う。 ・グループでの話し合い後，全体交流を行う。【本時】 	◎	◎		[主体的に学びに取り組む態度] <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に自分の意見を伝えたり，グループの意見を広げたり，まとめたりしようとしている。（行動観察，ワークシート）
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元の学習を振り返る。 			◎	

本時の学習（5／6時間）

○本時の目標

前回の話し合い活動での問題点を踏まえて，解決カードを活用しながら，グループごとに意見を広げ，まとめながら議題について話し合うことができる。

(1) 準備物 付箋，ワークシート（クラゲチャート），解決カード

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 ◎支援を要する児童への手立て	評価規準 (評価方法)
1 問題を把握し，本時の課題を設定する。		
○前回の話し合い活動での問題点を出し合う。	・前回の話し合いでの各グループの問題点を確認し，今日の話し合いでは，どの点を改善させていくのかを意識付け	

	させる。	
2 めあてを設定する。		
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 【めあて】 グループごとの話し合いの問題点を、解決カードを使いながら、議題にそって話し合うことができる。 </div>		
○話し合いの議題とそれに対する自分の意見、話し合いの進め方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールの活用方法、時間配分等も考えて進めることを示唆する。 ・前回作成した「解決カード」を確認し、今回の話し合いではどの点を改善して話し合いを行うのかを確認させる。 	
3 自分の考えを伝え合う。		
○議題の解決方法に対する自分の考えを理由も一緒に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の意見を付箋に書き表したものを提示することで、視覚的に全員の意見を把握しやすい環境をつくる。 ・意見を広げることにはできないかの観点をもって話し合うよう促す。 	
★4 グループで意見をまとめる。		
○個人の意見をもとに、思考ツール（クラゲチャート）を使ってグループで考えを広げてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラゲチャートを用いて、グループの意見を広げさせたり、分類させたり、関係づけさせたりする。 ・「解決カード」を用いて、意見をまとめていくよう話し合わせる。 	【思考力・判断力・表現力】 (話し合いの様子・ワークシート)
5 本時のまとめをする。		
○全体交流をし、本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の議題に対して、どのような解決方法が各グループで出たのかを発表させる。 ・議題を出した委員会メンバーに、各グループの発表を聞いての感想や意見を述べさせる。 	
6 本時の振り返りをする。		
○本時の学習の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の話し合いから、改善できた点・新たに生じた話し合いの問題点を確認し、今後につなげさせる。 	

板書計画

よりよい学校生活のために

めあて

グループごとの話し合いの問題点を、解決カードを使いながら、議題について話し合うことができる。

保健・安全委員会からの議題

0の日を守る人を増やすには、どうしたらよいのだろうか。

クラゲチャート9グループ分

振り返り

参考文献

- ・文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』東洋館出版社
- ・文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター（2020）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』東洋館出版社